

# かわいしぐさにつこり



笑顔で乳児とふれあう高校生

命の大切さを実感すること  
を目的とした「乳幼児とのふれあい会」が二十三日、岩美高校(岩美町浦富、藤原辰広校長)で開かれた。福祉コース一年の生徒二十四人が乳幼児を抱いたりミルクをあげたりして、温かな時間を過ごした。

岩美町ボランティアグループ「ぷろじえくと えん」がコーディネートして、岩美町や鳥取市内の三カ月から三歳までの乳幼児二十六人が母親と参加した。

担当する子どもと対面した生徒は、母親に名前の由来や子育ての苦労などを質問。こつを教わりながら、恐る恐る

岩美高1年24人

2008.6.25

## 乳幼児とふれあい

抱きかかえた。慣れてくるとミルクを飲ませたり寝かしつけたりして、赤ちゃんのかわいしぐさにやわらかい表情で接していた。

大畑裕太郎君(五)は「保育士になりたいと思っていたので、赤ちゃんの笑顔がとてもかわいくて、より気持ちが強まった」とにつこり。子ども二人と参加した岩美町浦富の森脇里沙さん(二)は「一生懸命やってくれてうれしかった。いつか子どもがほしいと感じてほしい」と話していた。

乳幼児の成長を実感するため、次回は秋ごろに開かれるという。